

☆新しくいった本は他にもございます。図書室では新着図書のリストを配布しております。また、鷹栖町図書室の蔵書検索から探すこともできます。



たかす(一般)

『ぼくには笑いがわからない』(上村裕香/KADOKAWA)

『ごみのはての』(佐々木陸/河出書房新社)

『銀波商店街の事件簿2』(井上真偽/小学館)

『清張が聞く!』(松本清張/文藝春秋)

『がんと生ききる』(落合恵子/朝日新聞出版)

『本を楽しむ教科書』(大島梢絵/ナツメ社)

『今さら聞けない副業の超基本』(大村信夫 監修/朝日新聞出版)

『知らない後悔する市販薬の最高の選び方』(ゆっくりドラッグストア/ライフサイエンス出版)

『畑で使える!有機資材とことん活用術』(和田義弥/山と溪谷社)

『くらやみ小学校』(姫野カオルコ/小学館)

『御稲荷さまの謎解き帖』(浅水想/双葉社)

『分裂蜂起』(佐々木譲/集英社)

『認知症の母が、おマンス詐欺に!?』(広みか/文芸社)

『高市早苗「ジャパン・イズ・バック」』(渡邊哲也/徳間書店)

『償い』(山崎裕侍/文藝春秋)

『農家が教えるナッツ&ベリーづくり』(農文協 編/農山漁村文化協会)

たかす(児童)

『さむいよちゅんっ』(飯野まき/ほる出版) 『どんごらごんごら』(たちばなはるか/偕成社)

『かえるのおうさま』(いもようこ/金の星社)

『オニのせつぶんたいじ』(岡田よしたか/小学館)

『てんでんきょうだいとまるねえちゃん』(田口万由/ポプラ社)

『ぼくをグレーってよんで』(タルーラ・フォンテーヌ/光村教育図書)

『ブジョーのおはなし』(タカーチ・ビクトリア/ワールド・ライブラリー)

『古代エジプトの謎図鑑』(こぞきゆう/幻冬舎)

『ほねほねザウルス 30』(ぐるーぷ・アンモナイツ/岩崎書店)

『夢中が未来をつくる』(山中伸弥/サンマーク出版)

『歴史小説のウゾ』(佐藤賢一/筑摩書房)

『トイレが楽しくなるうんちのひみつ』(さいとうあずみ/創元社)

『海底のサバイバル 2』(洪在徹/朝日新聞出版)

『図解乗り物の歴史』(モリナガヨウ/金の星社)

きたの(一般)

『spring another season』

(恩田陸/筑摩書房)

『溺れる少女』(ケイトリン・R.キアナン/河出書房新社)

『君につながる古典教室』(佐藤透/文学通信)

『1日1テーマ30日でわかる哲学』(青木滋之 監修/文響社)

『日本人はなぜ火葬を選ぶのか』(武田至/日刊現代)

『暦のことば』(山下景子/翔泳社)

『数学者と聖骸布騎士団』(藤本ひとみ/講談社)

『男女の壁』(養老孟司/実業之日本社)

『光と糸』(ハンガン/河出書房新社)

『子どものSNS禁止より、大人のX規制が必要な理由』(岡嶋裕史/光文社)

『GIZUMODOテック秘伝の書』(ギズモード・ジャパン/扶桑社)

『まほうの布小物』(Miharaのリメイク/ワニブックス)

『棚橋弘至のプロレス観戦入門』(棚橋弘至/KADOKAWA)

きたの(児童)

『ななくさのえほん』

(大野八生/岩崎書店)

『山がめざめて』(マット・シャンクス/ひさかたチャイルド)

『ひとりぼっちのベア』(ハンナ・ゴールド/静山社)

『おめでとうあそぼうよ』(五味太郎/偕成社)

『そらのひかり』(荒木健太郎/金の星社)

『みんなが知りたい!日本の城のすべて』

(「日本の城のすべて」編集室/メイツユニバーサルコンテンツ)

ほか

~鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています~

図書室だより

《展示》

「企画展 15年目の3.11」

今年で15年目となるこちらの巡回展が今年もまた、鷹栖町図書室で行われます。毎年足を運んでくださっている方はもちろんのこと、初めていらっしゃる方にも、作り手の想いが感じられる作品群がお待ちしています!ぜひ、鷹栖町図書室へお立ち寄りください。

展示期間は、3月17日(火)~4月12日(日)。(3月31日(火)と毎週月曜日は閉室しています)

企画展 15年目の3.11



3月17日(火)~4月12日(日)
鷹栖町図書室
〒071-1211 鷹栖町 鷹栖町立鷹栖小学校
〒071-0766 鷹栖町 鷹栖中学校



2月の本棚リレーは松平多美子さんでした。



2月の「音楽のある図書室」はセシリアぬえさんのキーボード弾き語り演奏でした。